

義務教育学校生野未来学園「報告書」

講話 ・ 研修会 ・ 授業（記録用）	
日時	令和5年 11月7日（13時40分～14時25分）
校 園 名	大阪市立義務教育学校生野未来学園
名 称	歯と口の健康教室
対 象	園児 児童 生徒 保護者 教職員 その他（約名）
講 師	前学校歯科医 岡本 卓士
演 題	あいうべ体操による口呼吸の改善
講演内容	<p>口呼吸と全身の関連を理解させて「あいうべ体操」の実践を行った。また、呼吸に関連する唇や舌の機能を理解させるために「りっぷるくん」や「健口くん」を使用して実習を行った。</p> <p>・ 授業課程</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 保健委員による授業内容や、健診結果の発表 ② 口呼吸になっているかの10問設問とその解説 ③ 「りっぷるくん」による口唇圧測定実習 ④ 「健口くん」による口腔機能計測実習 ⑤ 鼻呼吸の重要性及び、全身や口腔に及ぼす影響を説明し、5回ほどあいうべ体操を全員で実施 ⑥ 口唇を閉じるための、「ポカンX」の使用方法を説明、手土産として配布
感想・課題	<p>事前に養護教員との打ち合わせで、事前に実習の流れと、実習を行う生徒の選抜をしていただいております。スムーズに進行ができたと思われる。実習時には、保健委員が司会進行と測定値をホワイトボードに記入してもらった。生徒たちも実習に参加してくれてる生徒たちを中心に、測定値が出た時に歓声上がるなど、興味をもって参加してくれていたように感じる。授業後では、あいうべ体操に関心を持ってくれた生徒が一定数はおおり、あちこちでその話をしているという声を、養護教諭の先生からも聞くことができた。</p> <p>測定結果としては、「健口くん」の数値が、最初の生徒では体感で聞き取った感覚と比べて軒並み大きく低く、滑舌やマイクとの距離やマスクの使用が数値に出た可能性がある。最初に岡本先生が見本を見せた時や、後半の生徒では正常な数値が出ていたので、実験形式に考察が必要かもしれない。時世を考えると、マスクをつけたまま測定の方が望ましいと思われ、今後の課題と考える。</p>